

報恩感謝の心で 一手一つに
 提唱90年「全教一斉ひのきしんデー」
 各支部で勇んでつとめられる



第633号

発行所

天理教静岡教務支庁
 〒425-0013
 焼津市岡当目1番地

TEL (054) 626-1333
 FAX (054) 628-4615
 Email:skyou@live.jp



本年度提唱九十周年となる「全教一斉ひのきしんデー」が全国津々浦々で開催された。三年目となるコロナ禍の中、本部布教部から本年の「全教一斉ひのきしんデー」は「全ようぼくに案内を届けよう」とのスローガンが打ち出されたことから、教区として、昨年十二月から三月にかけて支部例会に教区長が巡回し大きく呼びかけられ、これを受けてほとんどの支部で会場を設け、これまで管内ようぼく家庭に参加呼びかけにつとめてきた。当日二十九日は好天のご守護頂き、大勢のようぼく信者の参集のもと、ひのきしんが行われた。

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。

東伊豆支部

今年「全教一斉ひのきしんデー」提唱九十周年の記念すべき年に当たる上から、当支部でも教区長の巡回を頂き、これを受け一同ようぼく名簿をもとに声かけに励み、当日を迎えた。東伊豆支部では会場を三会場に分け、北から一組熱海地区「長浜海浜公園」（参加者二十五名、内大人二十三名、少年会員二名）・一組伊東地区「オレンジビーチ」（参加者五十三名、内大人四十六名、少年会員七名）・二組の統一会場として、下田市「伊豆つくし学園」（参加者三十八名、内大人三十名、少年会員八名）とに別れ、勇んでひのきしんに汗を流した。またひのきしん実動中は雨をお預け頂く御守護を頂戴し、九十周年という節目の年に健康な身体をお借りして、ひのきしんをさ



せて頂ける事を喜び、これを弾みに来年の教祖百四十年祭三年千日の活動へとつなげようとの思いを胸に一同は家路についた。
 (土屋一彦社友)

伊豆支部

伊豆支部（山本真司支部長）では九十五名が四会場に分かれ、午前中それぞれの地区で実動した。
 一組（三島市、清水町）ではコロナ禍でいつも実施している三島総合病院での除草が出来ないため、本年は三島市栄町共同墓地で行



われた。当日はまず表統領メッセージが代読され、組内の教会で、この墓地に歴代会長や信者を埋葬しているところもあり、より一層の感謝の気持ちを込めてひのきしんに勇んでつとめさせていただいた。二組(函南町、伊豆の国市、伊豆市修善寺地区)は伊豆市にある伊豆中央ケアセンターで屋外庭園や敷地内での除草などをつとめた。また三組の戸田地区では戸田造船郷土資料博物館での敷地内の除草をつとめ、土肥地区で

はようぼく家庭の周辺や教会周辺で思い思いのひのきしんに汗を流した。四組(西伊豆町、松崎町)では松崎海岸でのごみ拾いのひのきしんをつとめた。また午後からは「献血ルーム 柿田川」にて、街頭でのプラカードによる献血の呼び掛け・ポケットティッシュの配布をしながら呼び掛け、大勢の献血者と呼ばひ集め、その中九人のひのきしん者が献血を行った。

駿豆支部

駿豆支部では三百八十九名が参加し、千本浜公園にて行われました。



富士支部は大淵公園一箇所にて、九十八名の参加者を頂き、九時から十一時まで除草ひのきしんを勤めました。

富士支部



東駿支部は、恒例となつている三保真崎海岸で、今にも雨が降り出しそうな曇天のなか二百二十八名が参加した。参加者の中には、皆様方と久しぶりに集い、一緒にひのきしんができ、喜ぶ姿が溢れている様子であった。

東駿支部



中駿東支部(梅田聡支部長)の全教一斉ひのきしんデーは、コロナ禍の状況を鑑み、昨年と同様に各教会、各家庭でつとめさせていたたく予定でしたが、最近の状況下では、今まで通りとはいきませんが、多少なりとも集つてやらせていただいてもいいのではないかといい声もあり、各自でのひのきしんに合わせて、追加で小規模な会場を数カ所設定させていただき、近くの方々には集つていただき共に勇んでひのきしんをつとめさせていただきました。

中駿東支部

中駿西支部(木下雅利支部長)は、さる四月二十九日に天気崩れが危ぶまれる中、安倍川河川敷会場においては三年ぶりとなる「全教一斉ひのきしんデー」をつとめさせて頂いた。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大防止のうえから、同会場での開催



中駿西支部

突然の方向転換でしたが、ラインや情報ネット等リアルタイムで情報発信ができ、当日は百二十七名という予想以上の人数で、お互い喜びいっぱいにつとめさせていただきました。(山田清治社友)

を控えさせて頂いてきたが、本年は「全教一斉ひのきしんデー」提唱九十周年の節目の年ということから、なんとか支部管内の教友たちと一手一つにつとめさせて頂きたいとの思いから同会場での開催となった。まだ感染が治まりを見せていない状況下での開催に、「参加者が少ないのでは？」と懸念されていたが、予想を上回る百七十六名の参加者が集まって下さり、係員一同喜びを共にした。

また同会場以外でも、多くの教友たちが教会や自宅周辺のひのきしんに勤しんだ。これまでに感染症によって活動の自粛が余儀なくされていたが、これから少しずつ各行事が再開されるのが予想される中で、今回の「全教一斉ひのきしんデー」が一つの足掛かりとなり、来年から始まる教祖百四十年祭活動に拍車がかかることを願っている。

る。（「情報ねっと」から）

西駿支部

西駿支部は二百九十名が六ヶ所の会場に分かれ、大勢のようぼく・信者が勇んでひのきしんに励んだ。焼津のピアゴ駐車場では献血と献血の呼び込みを行った。



中遠支部

中遠支部は二百九十二名が四箇所に分かれてひのきしんを行いました。

掛川生涯学習センターでは、九時から十一時までで五十四名の参加者で除草作業を行いました。

曇り空の中、暑さを感じることなく、雨も



終了してから降り出しましたので、作業中は



濡れることはありませんでした。結構なひのきしんをさせて頂きました。

西遠支部

四月二十九日は支部会場でのひのきしんが開催出来ませんでした。三百五十八名がそれぞれひのきしんを行いました。又、五月六日には、早朝の浜松まつり凧揚げ会場清掃ひのきしんを行いました。



北遠支部

コロナ禍によって、三年前まで行っていた施設でのひのきしんが



出来なくなり、各組で各々に行う予定でしたが、以前行っていた「浜松アリーナ」へ打診した所、快諾していただき、支部全体で行うことができ、大変有り難かったです。

当日の天気も心配でしたが、何とかご守護をいただき、開催することができ、遠方の人達も大勢参加して下さい、共々に勇んでつとめさせていただきました。

参加者 百十八名
（内・少年会員十名）
が、八時半より十一時まで駐車場周辺の草刈りを行いました。

立教 185 年 サマースクール静岡

隊員大募集！！

- 7月29(金)～8月1日(月) 3泊4日
- 「わかぎ(中学生)」を対象に、
- おちばで、
- 本部練成会への参加を含め、
- サマースクールを開催します！

新型コロナウイルス対策で2年できなかった『サマースクール静岡』を、少年会本部主催の少年ひのきしん隊本部練成会に合わせ、中学生のおちばでの伏せ込みの場、教区での交流の場として、詰所をお借りし、静岡独自の練成会を開催させていただきます。カウンセラーを含め、隊員大募集中です。今年の夏の思い出、おちばで、みんなで作ろう！



詳細につきましては、別紙要項をご覧ください！！

詳しくは、サマースクール実行委員
または、各支部少年会育成委員まで。